

様式第2号 その2（第7条関係）

事業計画書

補助事業の名称	とくしま林道活用事業
団 体 名	〇〇〇〇●●●●
実 施 期 間	補助金交付決定通知日～令和●年●月●●日
事業完了予定年月日	令和●年●月●日
補助事業の目的	いきなり実際の林道を走るのではなく、「安全な広場での基礎練習」と「実際の林道での体験走行」をセットにすることが最大のポイントとなる。例えば、将来的に剣山スーパー林道のような走りごたえのある長距離ダートへ挑戦するための、最初の登竜門となるような場を提供し、安全なオフロード文化の普及を図り「オフロードの聖地」を目指します。
補助事業の内容	イベント名：オフロード・ファーストステップ講習＆林道体験ツーリングイベント 1. イベント概要 ①ターゲット：オフロードバイク・アドベンチャーバイクを購入したばかりの初心者及び未舗装路の走行経験がほとんどないライダー ②会 場：林道〇〇線及び沿線上の木材集積場（〇〇市〇〇町字〇〇） ③定 員：5～10名程度（※安全確保のため、少人数制とする） ④講師・スタッフ体制：メイン講師1名、サポートライダー（先導・しんがり担当）2～3名 2. プログラム内容（予定） 09:00 【受付・車両チェック】 09:30 【午前の部：クローズドエリアでの基礎練習】 ※林道付近の未舗装の広場、または占有可能なオフロードコース等を使用 ・乗車姿勢：スタンディングフォームの基本、ニーグリップ・くるぶしグリップ ・発進・停止：未舗装路でのブレーキのかけ方（フロントとリアの割合） ・旋回：目線の置き方、アクセルワーク 12:00 【昼食・休憩】 ・参加者同士の交流、バイク談義

	13:00 【午後の部：林道体験ツーリング】 ・実際にフラットな（比較的平坦で荒れていない）林道へ移動 ・講師が先導し、安全なペースで編隊走行 ・インカム等を活用し、走りながらのワンポイントアドバイス 15:00 【ゴール・総括】 ・タイヤの空気圧をオンロード用に戻すレクチャー ・質疑応答、解散 3. 安全管理と参加条件 ・必須装備の徹底：ヘルメット（オフロード用推奨）、グローブ プロテクター必須（胸部、肘、膝） くるぶしが隠れるライディングブーツ（オフロードブーツ推奨） ・車両の条件：公道走行可能なオフロード・アドベンチャーモデル（保安部品完備） ・違法改造車、排気音が大きすぎるマフラー装着車の参加不可 ・スタッフの配置：林道走行時は、先頭（ルート案内とペースメイク）、中間（参加者のフォロー）、しんがり（最後尾でのトラブル対応）に必ずスタッフを配置する。 ・緊急時の備え：ファーストエイドキット、工具、パンク修理キットの携行 ・林道内の携帯電話の電波状況マップの事前作成 4. 補助事業終了後の自立・継続に向けた取組 本事業終了後は、参加者からの適正な参加費・講習費を主な財源とし、補助金に頼らない自立した運営体制へと移行します。また、初心者向け講習を起点としたリピーターの獲得や、地元飲食店・宿泊施設等との連携強化により収益性を高め、「オフロードの聖地」としての地域活性化に継続的に貢献していく予定。 ※その他、イベントの概要が判る資料があれば添付してください。 ※「別紙事業計画書（任意様式）参照」と記載し、別途事業計画書を添付するの也可
備 考	

様式第2号 その2（第7条関係）

事業計画書

補助事業の名称	とくしま林道活用事業
団 体 名	〇〇〇〇●●●●
実 施 期 間	補助金交付決定通知日～令和●年●月●●日
事業完了予定年月日	令和●年●月●日
補助事業の目的	グラベルロードやMTBの愛好家を対象とした、未舗装路（グラベル）をマイペースに楽しむファンライド形式のイベントを実施。タイムを競うレースではなく、普段は走る機会の少ない林道を、手付かずの自然や溪谷美を自転車で駆け抜ける特別感を満喫してもらい、非日常の冒険体験を提供することで、林道の魅力度向上を図り山村地域の活性化に繋がります。
補助事業の内容	イベント名：●●林道グラベルライド 1. イベント概要 ①ターゲット：20代～50代のグラベルバイク、シクロクロス、MTB所有者。競技志向ではなく、景色や参加者同士の交流を楽しみたいサイクリスト。 ③会場：林道〇〇線（〇〇市〇〇町字〇〇） ④定 員：50名程度 ⑤講師・スタッフ体制：メイン講師1名、サポートスタッフ（先導・しんがり担当）2～3名 2. プログラム内容（予定） 07:30 会場オープン・受付開始参加確認、ゼッケン・参加賞（地元ゆかりのものなど）の配布、荷物預かり 08:30 ブリーフィング（開会式）主催者挨拶、コース状況・危険箇所の説明、歩行者優先ルールの再確認 09:00 スタート 10:30 第1給水地点【約15km地点】トイレ休憩、 12:00 第2給水地点【約30km地点】トイレ休憩 14:00 ゴール受付開始参加者の無事帰還を確認、完走証の配布 14:30 抽選会・閉会式完走者を対象とした、協賛アウトドアグッズ等が当たる抽選会 15:30 イベント終了・解散参加者のお見送り、完全撤収作業開始

	3. 安全管理等 林道での渋滞やハイカーとの接触リスクを減らすため、「ウェーブスタート（分散出発）」を採用。 4. その他 ・スタート前のリラックス空間 タイムを競う緊張感のあるレースとは異なり、朝の澄んだ空気の中で美味しいコーヒーを飲みながら参加者同士が交流する「グラベル特有のチルな時間」を演出します。 ・デジタルスタンプラリーの導入 運営スタッフの配置負担を減らすため、指定の絶景ポイント（林道の頂上など）で写真を撮り、SNSに指定ハッシュタグ付きで投稿することを通過証明とする遊び心を取り入れます。 5. 事業の自立・継続化について 本補助金を活用した今回のイベント開催を足がかりとして、次回以降は参加費収入や地元企業・アウトドアメーカーからの協賛金等を主たる財源とする収益モデルを確立します。また、デジタルスタンプラリーや SNS を通じて形成した参加者コミュニティを活かしてリピーターを獲得し、補助事業終了後も自立して本イベントを継続的に開催（年〇回の恒例イベント化など）することで、持続的な林道の魅力発信と山村地域の活性化に貢献します。 ※その他、イベントの概要が判る資料があれば添付してください。 ※「別紙事業計画書（任意様式）参照」と記載し、別途事業計画書を添付するの也可
備 考	

様式第2号 その2（第7条関係）

事業計画書

補助事業の名称	とくしま林道活用事業
団 体 名	〇〇〇〇●●●●
実 施 期 間	補助金交付決定通知日～令和●年●月●●日
事業完了予定年月日	令和●年●月●日
補助事業の目的	車と自然を愛するオーナー同士の親睦を深め、情報交換の場を提供し、安全かつ自然環境に配慮した林道走行のルールを共有、グッドマナーなカーライフを促進し、これらのイベントを通じた地元との連携、地元食材の消費、周辺観光地への送客により、にぎわいを創出し林道の魅力度向上を図り地域活性化に貢献します。
補助事業の内容	イベント名：フォレストトライアルファンミーティング 1. イベント概要 ①ターゲット：オフロード車、SUV、アウトドア向け車両のオーナーおよびその家族・友人。 自然の中でのドライブや、車中泊、キャンプなどのアウトドアアクティビティに関心のある層。 ②会 場：林道〇〇線 (〇〇市〇〇町字〇〇) ③定 員：20～30名程度（※安全確保のため、少人数制とする） 20台程度 ④スタッフ体制：10名程度 ⑤内 容 (1) 林道パレードラン（ツーリング） ・指定の林道を安全な速度で走行。途中の絶景ポイントでの写真撮影タイム。 (2) 車両展示&オーナーズミーティング ・ベースキャンプ（メイン会場）にて車両を並べて展示。 ・カスタム内容の共有や、参加者同士の自由な交流。 (3) 林道ドライビング・マナー講座 ・講師を招き、未舗装路の安全な走り方、すれ違いのルール、自然保護への配慮を学ぶミニ講座。

	2. プログラム内容（予定） 08:30 開場・受付開始（車両誘導、駐車） 09:30 開会式・ブリーフィング（スケジュール説明、安全ルールの徹底） 10:00 林道パレードラン（グループごとに順次出発） 12:00 昼食・交流タイム（BBQ、各ブース見学） 13:30 マナー講座＆集合写真撮影 14:30 チャリティ清掃活動 15:00 閉会式・解散 3. 安全管理等 数台ずつのグループに分かれ、ペースカー（先導車）の誘導のもと、指定の林道を安全な速度で走行。 4. その他 チャリティ・林道清掃活動 イベントの締めくくりに、会場周辺や林道入り口付近のゴミ拾いを実施（林道保全への還元）。 5. 補助事業終了後の自立・継続に向けた取組 本補助事業で構築したイベント運営のノウハウと、参加者や地域住民とのネットワークを基盤とし、次年度以降は収益モデル（参加費の適正化、オリジナルグッズ販売、地元企業等からのスポンサー獲得など）を確立することで、持続可能な定期イベントとして地域への定着を目指します。 ※その他、イベントの概要が判る資料があれば添付してください。 ※「別紙事業計画書（任意様式）参照」と記載し、事業計画書を添付するのも可
--	--

様式第2号 その2（第7条関係）

事業計画書

補助事業の名称	とくしま林道活用事業
団 体 名	〇〇〇〇●●●●
実 施 期 間	補助金交付決定通知日～令和●年●月●●日
事業完了予定年月日	令和●年●月●日
補助事業の目的	歩行速度だからこそ気づくことができる林道の豊かな植生や地質、歴史的背景を五感で楽しむ「スローツーリズム」を推進します。ネイチャーガイド同行による自然観察を通じて林道の新たな魅力を発信します。 環境保全への意識向上を図るとともに、参加者コミュニティの形成と地元経済への還元により、持続可能な山村地域の活性化を目指します。
補助事業の内容	イベント名：フォレスト・リトリート 「林道ネイチャーウォーク」 ※リトリートとは、仕事や日常生活から一時的に離れ、疲れた心と体をリセットする過ごし方のこと 1. イベント概要 ①ターゲット：自然志向の強い20～40代、アウトドア初心者、親子連れ、写真撮影や植物・野鳥観察を好むハイカー。 ②会場：林道〇〇線及び沿線の広場（〇〇市〇〇町字〇〇） ③定員：15～20名程度（※安全確保のため少人数制） ④スタッフ体制8名程度（地元ネイチャーガイド2名、サポートスタッフ・救護担当） 2. プログラム内容（予定） 09:00 受付開始・オリエンテーション（林道でのマナー、熊対策・虫対策のレクチャー） 09:30 ネイチャーウォーク出発（植物や野鳥の観察、林道の歴史解説を交えながらゆっくり歩行） 11:30 林道沿いの絶景ポイント（広場）到着 12:00 昼食・休憩 13:30 林道・トレイル保全プチ体験（落ち枝の撤去や水切り溝の簡易清掃など、林道への恩返し活動） 14:30 下山・フィードバックセッション（見つけた自然や感想のシェア） 15:30 閉会式・解散（近隣の温泉施設や道の駅への立ち寄りを案内）

	3. 安全管理等 ①ガイド1名につき参加者7～8名の少人数班編成とし、参加者の体調変化にきめ細かく対応します。 ②林道特有の落石危険箇所やスズメバチ等の危険生物の生息状況を事前踏査で確認し、スタッフ間で共有します。 ③全スタッフが救命講習を受講し、ポイズンリムーバーおよびファーストエイドキットを必ず携行します。 4. その他 知育要素の導入:子供連れでも飽きずに林道を歩けるよう、「自然観察ビンゴカード」を配布し、発見する喜びを提供します。 5. 補助事業終了後の自立・継続に向けた取組 本事業を「体験型エコツアー」としてブラッシュアップし、今後はアウトドア旅行予約サイト等を通じて広く展開します。単なる通行目的ではなく、「林道に滞在して楽しむ」という独自の付加価値をつけることで、適正な参加費を設定し、補助金終了後も収益性の高いパッケージツアーとしての定着を目指します。 ※その他、イベントの概要が判る資料があれば添付してください。 ※「別紙事業計画書（任意様式）参照」と記載し、事業計画書を添付するのも可
備 考	

様式第3号（第7条関係）

収 支 予 算 書

1 収入の部

（単位：円）

区 分	本年度予算額	備 考
・とくしま林道活用事業補助金	300,000	
・自己資金	20,000	
計	320,000	

2 支出の部

（単位：円）

区 分	本年度予算額	備 考
・報償費	30,000	講師・ガイドへの謝金 (15,000 円／日×2 名)
・旅費	10,000	講師・ガイドの交通費実費相当分 (5,000 円×2 名)
・需用費	60,000	チラシ・ポスター印刷製本費 (チラシ 200 円／枚×200 枚＝40,000 円) (ポスター 500 円／枚×20 枚＝10,000 円) 救急セット等の消耗品費 (別添内訳一覧表参照)
・役務費	20,000	イベント保険料
・委託料	100,000	コース上の警備および会場設営に係る委託費用（別添参照）
・使用料及び賃貸料	100,000	スタート・ゴール地点の施設使用料
計	320,000	

（注）「備考」欄には、詳細な内訳を記入すること。なお、別様式での提出も可能とする。

補助事業報告書

補助事業の名称	とくしま林道活用事業
団 体 名	○○○○●●●●
実施補助事業内容	イベント名：オフロード・ファーストステップ講習 & 林道体験ツーリングイベント 1. イベント概要 ①ターゲット：オフロードバイク・アドベンチャーバイクを購入したばかりの初心者及び未舗装路の走行経験がほとんどないライダー ②会場：林道○○線及び沿線上の木材集積場（○○市○○町字○○） ③参加者：10 名（10 台）※うち県外 5 名（5 台） ④講師・スタッフ体制：メイン講師 1 名、 サポートライダー（先導）1 名 サポートライダー（しんがり担当）1 名 2. プログラム内容 09:00 【受付・車両チェック】 09:30 【午前の部：クローズドエリアでの基礎練習】 ※林道付近の未舗装の広場、または占有可能なオフロードコース等を使用 ・乗車姿勢：スタンディングフォームの基本、ニーグリップ・くるぶしグリップ ・発進・停止：未舗装路でのブレーキのかけ方（フロントとリアの割合） ・旋回：目線の置き方、アクセルワーク 12:00 【昼食・休憩】 ・参加者同士の交流、バイク談義 13:00 【午後の部：林道体験ツーリング】 ・実際にフラットな（比較的平坦で荒れていない）林道へ移動 ・講師が先導し、安全なペースで編隊走行 ・インカム等を活用し、走りながらのワンポイントアドバイス

	15:00 【ゴール・総括】 ・タイヤの空気圧をオンロード用に戻すレクチャー ・質疑応答、解散 3. 安全管理と参加条件 ・必須装備の徹底：ヘルメット（オフロード用推奨）、グローブ プロテクター必須（胸部、肘、膝） くるぶしが隠れるライディングブーツ（オフロード ブーツ推奨） ・車両の条件：公道走行可能なオフロード・アドベンチャーモデル（保 安部品完備） ・違法改造車、排気音が大きすぎるマフラー装着車の参加不可 ・スタッフの配置：林道走行時は、先頭（ルート案内とペースメイク）、 中間（参加者のフォロー）、しんがり（最後尾でのト ラブル対応）に必ずスタッフを配置する。 ・緊急時の備え：ファーストエイドキット、工具、パンク修理キットの 携行 ・林道内の携帯電話の電波状況マップの事前作成、参加者に配布した。
補助事業の成果	1. 事故の未然防止と初心者への安全確保 「広場での基礎練習」と「体験走行」をセットにすることで、転倒や 滑落などの事故を防ぎ、初心者が安全にオフロード走行の基礎を身につ ける環境がくれた。 2. ライダーのステップアップ支援（登竜門としての機能） 「剣山スーパー林道」のような長距離ダートは初心者にはハードル が高いため、そこへ至るまでの「最初のステップ（登竜門）」を提供す ることができた。これにより、裾野を広げていく。 これらの取り組みを通じて、林道の有効活用が図られるとともに、初心 者から上級者までが訪れる「オフロードの聖地」としての認知度が高まり、 観光振興や地域活性化に繋げることができた。
補助事業の着手 及 び 完 了	着手 令和●●年●●月●●日 完了 令和●●年●●月●●日
備 考	

補助事業報告書

補助事業の名称	とくしま林道活用事業
団 体 名	〇〇〇〇●●●●
実施補助事業内容	イベント名：●●林道グラベルライド 1. イベント概要 ①ターゲット：20代～50代のグラベルバイク、シクロクロス、MTB所有者。競技志向ではなく、景色や参加者同士の交流を楽しみたいサイクリスト。 ③会場：林道〇〇線（〇〇市〇〇町字〇〇） ④定員：35名 ※うち県外10名 ⑤講師・スタッフ体制：メイン講師1名、 サポートスタッフ（先導）3名 サポートスタッフ（しんがり担当）3名 サポートスタッフ（その他）2名 2. プログラム内容 07:30 会場オープン・受付開始参加確認、ゼッケン・参加賞（地元ゆかりのものなど）の配布、荷物預かり 08:30 ブリーフィング（開会式）主催者挨拶、コース状況・危険箇所の説明、歩行者優先ルールの再確認 09:00 スタート（ウェーブ方式）安全確保のため、10～15名ずつ3分間隔で順番にスタート 10:30 第1給水地点【約15km地点】トイレ休憩、 12:00 第2給水地点【約30km地点】トイレ休憩 14:00 ゴール受付開始参加者の無事帰還を確認、完走証の配布 14:30 抽選会・閉会式完走者を対象とした、協賛アウトドアグッズ等が当たる抽選会 15:30 イベント終了・解散参加者のお見送り、完全撤収作業開始 3. その他 ・スタート前のリラックス空間 タイムを競う緊張感のあるレースとは異なり、朝の澄んだ空気のなかで美味しいコーヒーを飲みながら参加者同士が交流する「グラベル特有のチルな時間」を演出した。

	・デジタルスタンプラリーの実施 運営スタッフの配置負担を減らすため、指定の絶景ポイント（林道の頂上など）で写真を撮り、SNS に指定ハッシュタグ付きで投稿することを通過証明とした。
補助事業の成果	普段は走れない林道での「手付かずの自然や溪谷美」や「非日常の冒険体験」という特別感を提供。この体験を通じて参加者に林道のポテンシャルを実感してもらうことで「林道の魅力度向上」が図られ、イベントを通じた交流や来訪者の増加によって「山村地域の活性化」へと繋げることができた。
補助事業の着手 及　　び　　完　　了	着手　令和●年●●月●●日 完了　令和●年●●月●●日
備　　考	

補助事業報告書

補助事業の名称	とくしま林道活用事業
団 体 名	〇〇〇〇●●●●●
実施補助事業内容	イベント名：フォレストトライアルファンミーティング 1. イベント概要 ①ターゲット：オフロード車、SUV、アウトドア向け車両のオーナーおよびその家族・友人。 自然の中でのドライブや、車中泊、キャンプなどのアウトドアアクティビティに関心のある層。 ②会場：林道〇〇線 (〇〇市〇〇町字〇〇) ③定員：20 名程度（20 台程度）※うち県外 8 名（3 台） ④スタッフ体制：10 名 ⑤内 容 (1) 林道パレードラン（ツーリング） ・ 5 台ずつのグループに分かれ、ペースカー（先導車）の誘導のもと、指定の林道を安全な速度で走行。途中の絶景ポイントでの写真撮影。 (2) 車両展示＆オーナーズミーティング ・ ベースキャンプ（メイン会場）にて車両を並べて展示。 ・ カスタム内容の共有や、参加者同士の自由な交流を図った。 (3) 林道ドライビング・マナー講座 ・ 講師を招き、未舗装路の安全な走り方、すれ違いのルール、自然保護への配慮を学ぶミニ講座を実施した。 2. プログラム内容 08:30 開場・受付開始（車両誘導、駐車） 09:30 開会式・ブリーフィング（スケジュール説明、安全ルールの徹底） 10:00 林道パレードラン（グループごとに順次出発） 12:00 昼食・交流タイム（BBQ、各ブース見学） 13:30 マナー講座＆集合写真撮影 14:30 チャリティ清掃活動 15:00 閉会式・解散

	3. その他 チャリティ・林道清掃活動 イベントの締めくくりに、会場周辺や林道入り口付近のゴミ拾いを実施した。(林道保全への還元)。
補助事業の成果	参加者の飲食や買い物による地元への直接的な経済波及効果及び地域の新たな観光資源としての「林道の魅力度」の向上と、関係人口（リピーター）の創出。
補助事業の着手 及び完了	着手 令和●年●●月●●日 完了 令和●年●●月●●日
備 考	

補助事業報告書

補助事業の名称	とくしま林道活用事業
団 体 名	〇〇〇〇●●●●
実施補助事業内容	イベント名：フォレスト・リトリート 「林道ネイチャーウォーク」 1. イベント概要 ①ターゲット：自然志向の強い 20～40 代、アウトドア初心者、親子連れ、写真撮影や植物・野鳥観察を好むハイカー。 ②会場：林道〇〇線及び沿線の広場（〇〇市〇〇町字〇〇） ③定員：20 名 うち県外 5 名 ④スタッフ体制 8 名（地元ネイチャーガイド 2 名、サポートスタッフ 5 名・救護担当 1 名） 2. プログラム内容 09:00 受付開始・オリエンテーション（林道でのマナー、熊対策・虫対策のレクチャー） 09:30 ネイチャーウォーク出発（植物や野鳥の観察、林道の歴史解説を交えながらゆっくり歩行） 11:30 林道沿いの絶景ポイント（広場）到着 12:00 昼食・休憩 13:30 林道・トレイル保全プチ体験（落ち枝の撤去や水切り溝の簡易清掃など、林道への恩返し活動） 14:30 下山・フィードバックセッション（見つけた自然や感想のシェア） 15:30 閉会式・解散（近隣の温泉施設や道の駅への立ち寄りを案内） 3. 安全管理等 ①ガイド 1 名につき参加者 7～8 名の少人数班編成とした。 ②林道特有の落石危険箇所やスズメバチ等の危険生物の生息状況を事前踏査で確認し、スタッフ間で共有した。 ③全スタッフが救命講習を受講し、ポイズンリムーバーおよびファーストエイドキットを携行した。 4. その他 知育要素の導入：子供連れでも飽きずに林道を歩けるよう、「自然観察ビンゴカード」を配布し、発見する喜びを提供した。

補助事業の成果	ネイチャーガイド同行の林道ツアーを通じて「スローツーリズム」を確立し、林道の新たな魅力を発信しました。これにより参加者の環境保全意識の向上とコミュニティ（関係人口）の形成を実現し、さらに地元ガイドの雇用や地域消費を生み出すことで、持続可能な山村地域の活性化と経済還元に貢献しました。
補助事業の着手 及　　び　　完　　了	着手　令和●年●●月●●日 完了　令和●年●●月●●日
備　　考	

様式第9号（第10条関係）

収 支 決 算 書

1 収入の部

(単位：円)

区 分	最終予算額	本年度決算額	差引	備 考
補助金	300,000	300,000	0	とくしま林道活用 事業
自己資金	20,000	20,000	0	
計	320,000	320,000	0	

2 支出の部

(単位：円)

区 分	最終予算額	本年度決算額	差引	備 考
報償費	30,000	30,000	0	講師・ガイドへの謝金 (15,000 円／日×2 名)
旅費	10,000	10,000	0	講師・ガイドの交通費実費相当分 (5,000 円×2 名)
需用費	60,000	60,000	0	チラシ・ポスター印刷製本費 (チラシ 200 円／枚×200 枚＝ 40,000 円) (ポスター 500 円／枚×20 枚＝ 10,000 円) 救急セット等の消耗品費 (別添内訳一覧表参照)
役務費	20,000	20,000	0	イベント保険料
委託料	100,000	100,000	0	コース上の警備および会場設 営に係る委託費用（別添参照）
使用料及び 賃貸料	100,000	100,000	0	スタート・ゴール地点の 施設使用料
計				

(注) 「備考」欄には、詳細な内訳を記入すること。なお、別様式での提出も可能とする。

受付日 受付者印

請 求 書

請求日 令和〇〇年〇〇月〇〇日

とくしま林道ナビ運営協議会長 殿

請 求 者 〇〇〇〇 ●●●●●

住 所 〇〇市〇〇町〇〇番地

氏 名 〇〇〇〇 ●●●●●

(法人名及び代表者名)

右の金額を 請求します。	請求 金額				¥	3	0	0	0	0	0	円
-----------------	----------	--	--	--	---	---	---	---	---	---	---	---

請 求 の 内 容
令和8年度 とくしま林道活用事業 補助金

口座振込先								
金融機関名 (●●銀行)	本支店名 (●●支店)							
預金種別 (1 普通 2 当座 3 その他)								
口座番号	(右づめ)							
<table border="1"><tr><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr></table>		●	●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●	●		
口座名義(カタカナ書き)								
(トクシマリントウナビウンエイキョウカイ)								

発行責任者 〇〇 〇〇 (連絡先●●●●-●●●●●-●●●●●)

担当者 〇〇 〇〇 (連絡先●●●●-●●●●●-●●●●●)